

ICT実践レポート

作成者（中部中学校） 氏名（杉本 渉）

学年	第1学年
教材	Skymenu Cloudを使用した授業の導入（タブレット操作のオリエンテーション）
活用したICT機器及びアプリ	<ul style="list-style-type: none">・教師用タブレット（Windows）・生徒1人1台タブレット・Skymenu Cloud
活用の実態	<p>・小学校によってタブレット使用の実態は様々であったため、今後授業の中で1人一台タブレットを使用していく際、効率よく操作を行うためのオリエンテーションとして活動を行なった。</p> <p>・テンパズル（4つの数字と四則計算を利用して10を作る遊び）と呼ばれる題材を利用した。</p> <p>以下操作方法をまとめる</p> <p><教師側></p> <ul style="list-style-type: none">・Skymenuにログイン後、事前に発表ノートでノートを作成しておく（図1参照）・授業開始をクリックし、画面提示や画面一覧、ロックなど機能があることを紹介。・テンパズルのルールを説明した後、図形を動かしたり、ペンで書き込むなど基本的な操作を画面提示をしながら教える。・ノートを生徒に配布し、提出箱を作成（ノートを配布すると提出箱を作成するバナーが表示）。その際、「□学習者に表示」にチェックを入れると生徒が提出したノートを生徒同士で見ることができる。・提出物の提出の仕方、提出箱の見方を確認後、活動を行う。・図1の3、5、7、2の組み合わせは30通り以上の答えがあるため、提出箱を見ながらまだ出ていないパターンの解答を考えることができる。・画面提示で生徒の回答をスライドショーで提示した（図2） <p><生徒側></p> <ul style="list-style-type: none">・Skymenuにログイン後配布されたノートを受けとる。・ノートの操作方法を実際に触りながら確認し、回答ができたなら右上に名前を書く・ノートを提出。方法は2パターン（①発表ノート左上の“メニュー”から“ノートを提出”を選択 ②“戻る”を選択後、発表ノート画面から回答したノートをドラック&ドロップで提出） <p><図1></p>  <p><図2></p>  
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none">・タブレット操作が苦手な生徒も、すぐに慣れ、Skymenuの使い方を学ぶことができた。・テンパズルは多くのパターンがあり、ほか生徒の相違や新しいパターンを発見した時の喜びを味わうことができていた。・小集団で行なったため、他生徒の回答を見せ合いながら、自分になかった発想を取り上げ話していた。
振り返り	<ul style="list-style-type: none">・Skymenuの機能の多くを活用できる活動であり、その後授業で同アプリを利用した際も、操作の方法でつまずく生徒がほとんど見られなかった。・遊び感覚で行うことができ、たくさんの考えがICTによって共有されることができた。・生徒の中には、四則計算で負の数を使用する生徒がおり、スライドショーで提示しながら、正の数・負の数の学習とつなげることができた。